

令和5年9月8日

各務原市長 浅野 健司 様

各務原市総合計画審議会

会長



各務原市次期総合計画（基本構想）について  
（答申）

令和5年3月1日付け4各企第155号で諮問のありました各務原市次期総合計画について、その基本構想（素案）を調査審議した結果、おおむね妥当であると認めましたので、別紙のとおり意見を付して、ここに答申します。

## 意見

- 1 「人口減少に打ち勝つ」ために、各務原ならではの魅力を活かしながら、従来の発想にとらわれない新たな取組の創出により、これまで以上に、みんながつながり、笑顔があふれ、若い世代や子育て世代をはじめ、誰もが住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを推進されたい。
- 2 人口減少対策は、組織、施策に横串しを通して取り組み、PDCAサイクルによる進捗管理や評価、改善を着実に図られたい。
- 3 目まぐるしく変化する社会経済情勢、多様化・複雑化する地域課題等を的確に捉え、状況の変化に応じて、柔軟に見直しを図られたい。
- 4 まさに「オール各務原」の総合計画として、SNSの活用など、様々な機会、手段を通じてあらゆる世代に対して広く周知し、市民や団体等との情報共有、意識共有を図られたい。また、写真、イラスト、図等を用いて、誰にとっても分かりやすく、親しみやすい冊子を作成されたい。
- 5 基本計画の検討においても、若者をはじめ、より多くの市民、団体等からご意見をいただけるよう、市民参画の機会を検討されたい。
- 6 総合計画は、総合的かつ計画的な市政の運営を図るための市の最上位計画であることから、分野別の個別計画との有機的な整合を図られたい。
- 7 審議の過程で出された意見等については、今後の基本計画や実施計画のほか、市政運営の中で十分検討、活用されたい。